

<p style="text-align: center;">旧学習指導要領 (平成20年告示)</p> <p>※現行(平成27年一部改正)と新(平成29年告示)では、1か所を除き変更がないため、旧(平成20年告示)の内容を示している。</p>	<p style="text-align: center;">新学習指導要領 (平成29年告示)</p>	<p style="text-align: center;">備 考</p>
<p style="text-align: center;">第3章 道 徳</p> <p>第1 目 標</p> <p>道徳教育の目標は、第1章総則の第1の2に示すところにより、学校の教育活動全体を通じて、道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度などの道徳性を養うこととする。</p> <p>道徳の時間においては、以上の道徳教育の目標に基づき、各教科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動における道徳教育と密接な関連を図りながら、計画的、発展的な指導によってこれを補充、深化、統合し、道徳的価値の自覚及び自己の生き方についての考えを深め、<u>道徳的实践力を育成するものとする。</u></p>	<p style="text-align: center;">第3章 <u>特別の教科</u> 道徳</p> <p>第1 目 標</p> <p><u>第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。</u></p>	<p>現行と新では、「第1章総則の第1の2の(2)に示す…」のみ変更している。</p> <p>最終的な目標は「道徳教育」と同じ「道徳性の育成」であることを示している。</p>
<p>第2 内 容</p> <p>道徳の時間を要として学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の内容は、次のとおりとする。</p> <p>1 主として自分自身に関すること。</p> <p>〔第1学年及び第2学年〕</p> <p>(3) よいことと悪いことの区別をし、よいと思うことを進んで行う。</p> <p>〔第3学年及び第4学年〕</p> <p>(3) 正しいと判断したことは、勇気をもって行う。</p> <p>〔第5学年及び第6学年〕</p> <p>(3) 自由を大切にし、自律的で責任のある行動をする。</p>	<p>第2 内 容</p> <p>学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の要である道徳科においては、以下に示す項目について扱う。</p> <p>A 主として自分自身に関すること</p> <p><u>〔善悪の判断、自律、自由と責任〕</u></p> <p><u>〔第1学年及び第2学年〕</u></p> <p>よいことと悪いこととの区別をし、よいと思うことを進んで行う<u>こと。</u></p> <p><u>〔第3学年及び第4学年〕</u></p> <p>正しいと判断したことは、<u>自信</u>をもって行う<u>こと。</u></p> <p><u>〔第5学年及び第6学年〕</u></p> <p>自由を大切にし、<u>自律的に判断し、責任のある行動をする</u>こと。<u></u></p> <p><u>〔正直、誠実〕</u></p>	<p>系統性、発展性を意識して指導できるよう、キーワードを追加し、内容項目ごとにまとめている。</p>

<p>(4) うそをついたりごまかしをしたりしないで、素直に伸び伸びと生活する。</p> <p>(4) 過ちは素直に改め、正直に明るい心で<u>元気よく</u>生活する。</p> <p>(4) 誠実に、明るい心で<u>楽しく</u>生活する。</p> <p>(4) 健康や安全に気を付け、物や金銭を大切にし、身の回りを整え、わがままをしないで、規則正しい生活をする。</p> <p>(4) 自分でできることは自分でやり、よく考えて行動し、節度のある生活をする。</p> <p>(4) 生活習慣の大切さを知り、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心掛ける。</p> <p>(5) 自分の特徴に気付き、よい所を伸ばす。</p> <p>(6) 自分の特徴を知って、悪い所を改めよい所を<u>積極的に</u>伸ばす。</p>	<p><u>〔第1学年及び第2学年〕</u> うそをついたりごまかしをしたりしないで、素直に伸び伸びと生活すること。</p> <p><u>〔第3学年及び第4学年〕</u> 過ちは素直に改め、正直に明るい心で生活すること。</p> <p><u>〔第5学年及び第6学年〕</u> 誠実に、明るい心で生活すること。</p> <p><u>〔節度、節制〕</u> <u>〔第1学年及び第2学年〕</u> 健康や安全に気を付け、物や金銭を大切にし、身の回りを整え、わがままをしないで、規則正しい生活をする<u>こと</u>。</p> <p><u>〔第3学年及び第4学年〕</u> 自分でできることは自分でやり、<u>安全に気を付け、よく考えて</u>行動し、節度のある生活をする<u>こと</u>。</p> <p><u>〔第5学年及び第6学年〕</u> <u>安全に気を付けることや、生活習慣の大切さについて理解し、</u>自分の生活を見直し、節度を守り節制に心掛ける<u>こと</u>。</p> <p><u>〔個性の伸長〕</u> <u>〔第1学年及び第2学年〕</u> 自分の特徴に気付く<u>こと</u>。</p> <p><u>〔第3学年及び第4学年〕</u> 自分の特徴に気付き、<u>長所を伸ばすこと</u>。</p> <p><u>〔第5学年及び第6学年〕</u> 自分の特徴を知って、<u>短所を改め長所を伸ばすこと</u>。</p> <p><u>〔希望と勇気、努力と強い意志〕</u></p>	<p>新項目。自他の相違の尊重に関わって、低学年から指導している。</p>
--	---	---------------------------------------

<p>(2) 自分がやらなければならない勉強や仕事は、しっかりと行う。</p> <p>(2) 自分でやろうと決めたことは、粘り強くやり遂げる。</p> <p>(2) より高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけないで努力する。</p> <p>(5) 真理を大切にし、進んで新しいものを求め、工夫して生活をよりよくする。</p> <p>2 主として他の人とのかかわりに関すること。</p> <p>(2) 幼い人や高齢者など身近にいる人に温かい心で接し、親切にする。</p> <p>(2) 相手のことを思いやり、進んで親切にする。</p> <p>(2) だれに対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にする。</p> <p>(4) 日ごろ世話になっている人々に感謝する。</p>	<p><u>〔第1学年及び第2学年〕</u> 自分のやるべき勉強や仕事を<u>しっかりと行うこと。</u></p> <p><u>〔第3学年及び第4学年〕</u> 自分でやろうと決めた<u>目標に向かって、強い意志をもち、粘り強くやり抜くこと。</u></p> <p><u>〔第5学年及び第6学年〕</u> より高い目標を立て、希望と勇気をもち、<u>困難があってもくじけずに努力して物事をやり抜くこと。</u></p> <p><u>〔真理の探究〕</u> <u>〔第5学年及び第6学年〕</u> 真理を大切にし、<u>物事を探究しようとする心をもつこと。</u></p> <p>B 主として人との関わりに関すること <u>〔親切、思いやり〕</u> <u>〔第1学年及び第2学年〕</u> 身近にいる人に温かい心で接し、<u>親切にすること。</u></p> <p><u>〔第3学年及び第4学年〕</u> 相手のことを思いやり、<u>進んで親切にすること。</u></p> <p><u>〔第5学年及び第6学年〕</u> <u>誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にすること。</u></p> <p><u>〔感謝〕</u> <u>〔第1学年及び第2学年〕</u> 家族など日頃世話になっている人々に<u>感謝すること。</u></p> <p><u>〔第3学年及び第4学年〕</u></p>	<p>家族の形態や家族間関係は多様であるという事実に鑑</p>
--	---	---------------------------------

<p>(4) 生活を支えている人々や高齢者に、尊敬と感謝の気持ちをもって接する。</p> <p>(5) 日々の生活が人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、それにこたえる。</p> <p>(1) 気持ちのよいあいさつ、言葉遣い、動作などに心掛けて、明るく接する。</p> <p>(1) 礼儀の大切さを知り、だれに対しても真心をもって接する。</p> <p>(1) 時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接する。</p> <p>(3) 友達と仲よくし、助け合う。</p> <p>(3) 友達と互いに理解し、信頼し、助け合う。</p> <p>(3) 互いに信頼し、学び合って友情を深め、男女仲よく協力し助け合う。</p> <p>(4) 謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を大</p>	<p><u>家族など生活を支えてくれている人々や現在の生活を築いてくれた高齢者に、尊敬と感謝の気持ちをもって接すること。</u></p> <p><u>〔第5学年及び第6学年〕</u></p> <p>日々の生活が<u>家族や過去からの多くの人々の支え合いや助け合い</u>で成り立っていることに感謝し、それに<u>応えること。</u></p> <p><u>〔礼儀〕</u></p> <p><u>〔第1学年及び第2学年〕</u></p> <p>気持ちのよい<u>挨拶</u>、言葉遣い、動作などに心掛けて、明るく接する<u>こと。</u></p> <p><u>〔第3学年及び第4学年〕</u></p> <p>礼儀の大切さを知り、<u>誰</u>に対しても真心をもって接する<u>こと。</u></p> <p><u>〔第5学年及び第6学年〕</u></p> <p>時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接する<u>こと。</u></p> <p><u>〔友情、信頼〕</u></p> <p><u>〔第1学年及び第2学年〕</u></p> <p>友達と仲よくし、助け合う<u>こと。</u></p> <p><u>〔第3学年及び第4学年〕</u></p> <p>友達と互いに理解し、信頼し、助け合う<u>こと。</u></p> <p><u>〔第5学年及び第6学年〕</u></p> <p><u>友達と互いに信頼し、学び合って友情を深め、異性についても理解しながら、人間関係を築いていくこと。</u></p> <p><u>〔相互理解、寛容〕</u></p> <p><u>〔第3学年及び第4学年〕</u></p> <p><u>自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、相手のことを理解し、自分と異なる意見も大切にすること。</u></p> <p><u>〔第5学年及び第6学年〕</u></p> <p><u>自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、謙虚な心を持ち、</u></p>	<p>み、家族のみならず学校や地域社会において、自分を世話し自分の生活を支えてくれている人々の思いについて知り、考えることの大切さを示している。</p> <p>多様な性が存在している現実を踏まえ、自分とは異なる性のありようを正しく理解することを求めている。</p> <p>新項目。いじめなどの問題に対応するとともに、多様性の尊重を基盤とする社会の創造に資するべく、中学年から指導の充実を図って</p>
--	--	--

<p>切にする。</p> <p>4 主として集団や社会とのかかわりに関すること。</p> <p>(1) 約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にする。</p> <p>(1) 約束や社会のきまりを守り、公德心をもつ。</p> <p>(1) 公德心をもって法やきまりを守り、自他の権利を大切に し進んで義務を果たす。</p> <p>(2) だれに対しても差別をすることや偏見をもつことなく公 正、公平にし、正義の実現に努める。</p> <p>(2) 働くことのよさを感じて、みんなのために働く。</p> <p>(2) 働くことの大切さを知り、進んでみんなのために働く。</p> <p>(4) 働くことの意義を理解し、社会に奉仕する喜びを知って 公共のために役に立つことをする。</p>	<p>広い心で自分と異なる意見や立場を<u>尊重すること。</u></p> <p>C 主として集団や社会との関わりに関すること</p> <p><u>[規則の尊重]</u></p> <p><u>[第1学年及び第2学年]</u> 約束やきまりを守り、みんなが使う物を<u>大切にする</u>こと。</p> <p><u>[第3学年及び第4学年]</u> 約束や社会のきまり<u>の意義を理解し、それらを守る</u>こと。</p> <p><u>[第5学年及び第6学年]</u> 法やきまりの<u>意義を理解した上で進んでそれらを守り、自他の 権利を大切に、義務を果たす</u>こと。</p> <p><u>[公正、公平、社会正義]</u></p> <p><u>[第1学年及び第2学年]</u> <u>自分の好き嫌いとらわれないで接すること。</u></p> <p><u>[第3学年及び第4学年]</u> <u>誰に対しても分け隔てをせず、公正、公平な態度で接するこ と。</u></p> <p><u>[第5学年及び第6学年]</u> <u>誰に対しても差別をすることや偏見をもつことなく、公正、公 平な態度で接し、正義の実現に努める</u>こと。</p> <p><u>[勤労、公共の精神]</u></p> <p><u>[第1学年及び第2学年]</u> 働くことのよさを<u>知り、みんなのために働く</u>こと。</p> <p><u>[第3学年及び第4学年]</u> 働くことの大切さを知り、進んで<u>みんなのために働く</u>こと。</p> <p><u>[第5学年及び第6学年]</u> 働くことや社会に奉仕する<u>ことの充実感を味わうとともに、そ の意義を理解し、公共のために役に立つ</u>ことをする。</p>	<p>いる。</p> <p>児童にとっての対象の広がり に即して、旧の「3 主 として自然や崇高なもの とのかかわりに関するこ と。」と順序を入れ替えて いる。</p> <p>低学年、中学年は新項目。 いじめなどの問題に対応す るとともに、差別や偏見の ない社会の創造に資するべ く、低学年から指導の充実 を図っている。</p>
--	--	--

<p>(3) 父母，祖父母を敬愛し，進んで家の手伝いなどをして，家族の役に立つ喜びを知る。</p> <p>(3) 父母，祖父母を敬愛し，家族みんなで協力し合っ楽しい家庭をつくる。</p> <p>(5) 父母，祖父母を敬愛し，家族の幸せを求めて，進んで役に立つことをする。</p> <p>(4) 先生を敬愛し，学校の人々に親しんで，学級や学校の生活を楽しくする。</p> <p>(4) 先生や学校の人々を敬愛し，みんなで協力し合っ楽しい学級をつくる。</p> <p>(6) 先生や学校の人々への敬愛を深め，みんなで協力し合っよりよい校風をつくる。</p> <p>(3) 身近な集団に進んで参加し，自分の役割を自覚し，協力して主体的に責任を果たす。</p> <p>(5) 郷土の文化や生活に親しみ，愛着をもつ。</p> <p>(5) 郷土の伝統と文化を大切にし，郷土を愛する心をもつ。</p>	<p><u>[家族愛，家庭生活の充実]</u></p> <p><u>[第1学年及び第2学年]</u> 父母，祖父母を敬愛し，進んで家の手伝いなどをして，家族の役に立つこと。</p> <p><u>[第3学年及び第4学年]</u> 父母，祖父母を敬愛し，家族みんなで協力し合っ楽しい家庭をつくること。</p> <p><u>[第5学年及び第6学年]</u> 父母，祖父母を敬愛し，家族の幸せを求めて，進んで役に立つことをすること。</p> <p><u>[よりよい学校生活，集団生活の充実]</u></p> <p><u>[第1学年及び第2学年]</u> 先生を敬愛し，学校の人々に親しんで，学級や学校の生活を楽しくすること。</p> <p><u>[第3学年及び第4学年]</u> 先生や学校の人々を敬愛し，みんなで協力し合っ楽しい学級や学校をつくること。</p> <p><u>[第5学年及び第6学年]</u> 先生や学校の人々を敬愛し，みんなで協力し合っよりよい学級や学校をつくるとともに，様々な集団の中での自分の役割を自覚して集団生活の充実に努めること。</p> <p><u>[伝統と文化の尊重，国や郷土を愛する態度]</u></p> <p><u>[第1学年及び第2学年]</u> 我が国や郷土の文化と生活に親しみ，愛着をもつこと。</p> <p><u>[第3学年及び第4学年]</u> 我が国や郷土の伝統と文化を大切にし，国や郷土を愛する心を</p>	<p>旧の高学年4-(6)と4-(3)の内容をまとめている。</p> <p>「国際理解，国際親善」の記述とバランスをとるため，「我が国」という語を追加している。</p> <p>旧の中学年4-(5)と4-(6)の</p>
--	---	---

<p>(7) 郷土や我が国の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、郷土や国を愛する心をもつ。</p> <p>(6) 我が国の伝統と文化に親しみ、国を愛する心をもつとともに、外国の人々や文化に関心をもつ。</p> <p>(8) 外国の人々や文化を大切にすることをもち、日本人としての自覚をもって世界の人々と親善に努める。</p> <p>3 主として自然や崇高なもののかかわりに関すること。</p> <p>(1) 生きることを喜び、生命を大切にすることを。</p> <p>(1) 生命の尊さを感じ取り、生命あるものを大切にすること。</p> <p>(1) 生命がかけがえのないものであることを知り、自他の生命を尊重すること。</p> <p>(2) 身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接すること。</p>	<p>もつこと。</p> <p><u>〔第5学年及び第6学年〕</u> 我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、<u>国や郷土を愛する心をもつこと。</u></p> <p><u>〔国際理解，国際親善〕</u></p> <p><u>〔第1学年及び第2学年〕</u> <u>他国の人々や文化に親しむこと。</u></p> <p><u>〔第3学年及び第4学年〕</u> <u>他国の人々や文化に親しみ、関心をもつこと。</u></p> <p><u>〔第5学年及び第6学年〕</u> <u>他国の人々や文化について理解し、日本人としての自覚をもつて国際親善に努めること。</u></p> <p>D 主として生命や自然，崇高なもののかかわりに関すること</p> <p><u>〔生命の尊さ〕</u></p> <p><u>〔第1学年及び第2学年〕</u> <u>生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすること。</u></p> <p><u>〔第3学年及び第4学年〕</u> <u>生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすること。</u></p> <p><u>〔第5学年及び第6学年〕</u> <u>生命が多くの生命のつながりの中にあるかけがえのないものであることを理解し、生命を尊重すること。</u></p> <p><u>〔自然愛護〕</u></p> <p><u>〔第1学年及び第2学年〕</u> <u>身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接すること。</u></p> <p><u>〔第3学年及び第4学年〕</u></p>	<p>内容をまとめ、「国際理解」に関わる内容を分離している。</p> <p>低学年は新項目。中央教育審議会答申の「今後のグローバル化の中では、自国の伝統や文化への深い理解はもとより、多様性の尊重や価値観の異なる他者との共生なども重要な内容」という提言を踏まえ、発達段階を踏まえたより体系的な内容にしている。</p> <p>生命尊重の重要性を鑑み、視点の名称を一部変更している。</p> <p>生命の相互の関連性や連続性について追加し、中学校の内容と系統性をもたせている。</p>
--	---	---

<p>(2) 自然のすばらしさや不思議さに感動し、自然や動植物を大切に<u>する</u>。</p> <p>(2) 自然の偉大さを知り、自然環境を大切に<u>する</u>。</p> <p>(3) 美しいものに触れ、すがすがしい心をもつ。</p> <p>(3) 美しいものや気高いものに感動する心をもつ。</p> <p>(3) 美しいものに感動する心や人間の力を超えたものに対する畏敬の念をもつ。</p>	<p>自然のすばらしさや不思議さを<u>感じ取り</u>、自然や動植物を大切に<u>すること</u>。</p> <p><u>〔第5学年及び第6学年〕</u></p> <p>自然の偉大さを知り、自然環境を大切に<u>すること</u>。</p> <p><u>〔感動、畏敬の念〕</u></p> <p><u>〔第1学年及び第2学年〕</u></p> <p>美しいものに触れ、すがすがしい心をもつ<u>こと</u>。</p> <p><u>〔第3学年及び第4学年〕</u></p> <p>美しいものや気高いものに感動する心をもつ<u>こと</u>。</p> <p><u>〔第5学年及び第6学年〕</u></p> <p>美しいものや気高いものに感動する心や人間の力を超えたものに対する畏敬の念をもつ<u>こと</u>。</p> <p><u>〔よりよく生きる喜び〕</u></p> <p><u>〔第5学年及び第6学年〕</u></p> <p>よりよく生きようとする人間の強さや気高さを理解し、人間として生きる喜びを感じる<u>こと</u>。</p>	<p>新項目。中学校の内容と系統性をもたせている。</p>
<p>第3 指導計画の作成と内容の取扱い</p> <p>(2) 道徳の時間の年間指導計画の作成に当たっては、道徳教育の全体計画に基づき、各教科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動との関連を考慮しながら、計画的・発展的に授業がなされるよう工夫すること。その際、第2に示す各学年段階ごとの内容項目について、児童や学校の実態に応じ、2学年間を見通した重点的な指導や内容項目間の関連を密にした指導を行うよう工夫すること。ただし、第2に示す各学年段階ごとの内容項目は相当する各学年においてすべて取り上げること。なお、特に必要な場合には、他の学年段階の内容項目を加えることができること。</p>	<p>第3 指導計画の作成と内容の取扱い</p> <p>1 各学校においては、<u>道徳教育の全体計画に基づき</u>、各教科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動との関連を考慮しながら、<u>道徳科の年間指導計画を作成するものとする</u>。なお、作成に当たっては、第2に示す各学年段階の内容項目について、相当する各学年において全て取り上げることとする。その際、児童や学校の実態に応じ、2学年間を見通した重点的な指導や内容項目間の関連を密にした指導、<u>一つの内容項目を複数の時間で扱う指導を取り入れるなどの工夫を行うものとする</u>。</p>	

<p>3 道徳の時間における指導に当たっては、次の事項に配慮するものとする。</p> <p>(1) 校長や教頭などの参加、他の教師との協力的な指導などについて工夫し、道徳教育推進教師を中心とした指導体制を充実すること。</p> <p>2 第2に示す道徳の内容は、児童が自ら道徳性をはぐくむためのものであり、<u>道徳の時間はもとより、各教科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動においてもそれぞれの特質に応じた適切な指導を行うものとする。</u>その際、児童自らが成長を実感でき、これからの課題や目標が見付けられるよう工夫する必要がある。</p> <p>3</p> <p>(4) 自分の考えを基に、書いたり話し合ったりするなどの表現する機会を充実し、自分とは異なる考えに接する中で、自分の考えを深め、自らの成長を実感できるよう工夫すること。</p>	<p>2 <u>第2の内容の指導に当たっては、次の事項に配慮するものとする。</u></p> <p>(1) 校長や教頭などの参加、他の教師との協力的な指導などについて工夫し、道徳教育推進教師を中心とした指導体制を充実すること。</p> <p>(2) <u>道徳科が学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の要としての役割を果たすことができるよう、計画的・発展的な指導を行うこと。特に、各教科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動における道徳教育としては取り扱う機会が十分でない内容項目に関わる指導を補うことや、児童や学校の実態等を踏まえて指導をより一層深めること、内容項目の相互の関連を捉え直したり発展させたりすることに留意すること。</u></p> <p>(3) <u>児童が自ら道徳性を養う中で、自らを振り返って成長を実感したり、これからの課題や目標を見付けたりすることができるよう工夫すること。その際、道徳性を養うことの意義について、児童自らが考え、理解し、主体的に学習に取り組むことができるようにすること。</u></p> <p>(4) <u>児童が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるよう、自分の考えを基に話し合ったり書いたりするなどの言語活動を充実すること。</u></p> <p>(5) <u>児童の発達の段階や特性等を考慮し、指導のねらいに即して、問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習等を適切に取り入れるなど、指導方法を工夫すること。その</u></p>	<p>旧の「補充・深化・統合」について説明している。</p> <p>「教え込み」ではない、児童の主体的な学習を求めている。</p> <p>道徳科のねらいを達成するために、自らの考えを深める言語活動を充実する必要性を示している。</p> <p>児童が考え議論する道徳科へと転換するため、答えが一つではない問題を道徳的</p>
---	--	---

<p>3</p> <p>(5) 児童の発達の段階や特性等を考慮し、第2に示す道徳の内容との関連を踏まえ、情報モラルに関する指導に留意すること。</p> <p>4 道徳教育を進めるに当たっては、学校や学級内の人間関係や環境を整えるとともに、学校の道徳教育の指導内容が児童の日常生活に生かされるようにする必要がある。また、道徳の時間の授業を公開したり、授業の実施や地域教材の開発や活用などに保護者や地域の人々の積極的な参加や協力を得たりするなど、家庭や地域社会との共通理解を深め、相互の連携を図るよう配慮する必要がある。</p> <p>3</p> <p>(3) 先人の生き方、自然、伝統と文化、スポーツなどを題材とし、児童が感動を覚えるような魅力的な教材の開発や活用を通して、児童の発達の段階や特性等を考慮した創意工夫ある指導を行うこと。</p>	<p><u>際、それらの活動を通じて学んだ内容の意義などについて考えることができるようにすること。また、特別活動等における多様な実践活動や体験活動も道徳科の授業に生かすようにすること。</u></p> <p>(6) 児童の発達の段階や特性等を考慮し、第2に示す内容との関連を踏まえつつ、<u>情報モラルに関する指導を充実すること。また、児童の発達の段階や特性等を考慮し、例えば、社会の持続可能な発展などの現代的な課題の取扱いにも留意し、身近な社会的課題を自分との関係において考え、それらの解決に寄与しようとする意欲や態度を育てるよう努めること。なお、多様な見方や考え方のできる事柄について、特定の見方や考え方に偏った指導を行うことのないようにすること。</u></p> <p>(7) <u>道徳科の授業を公開したり、授業の実施や地域教材の開発や活用などに家庭や地域の人々、各分野の専門家等の積極的な参加や協力を得たりするなど、家庭や地域社会との共通理解を深め、相互の連携を図ること。</u></p> <p><u>3 教材については、次の事項に留意するものとする。</u></p> <p>(1) <u>児童の発達の段階や特性、地域の実情等を考慮し、多様な教材の活用に努めること。特に、生命の尊厳、自然、伝統と文化、先人の伝記、スポーツ、情報化への対応等の現代的な課題などを題材とし、児童が問題意識をもって多面的・多角的に考えたり、感動を覚えたりするような充実した教材の開発や活用を行うこと。</u></p> <p>(2) <u>教材については、教育基本法や学校教育法その他の法令に従い、次の観点に照らし適切と判断されるものであること。</u></p>	<p>課題として捉える問題解決的な学習や、道徳的行為に関する体験的な学習など、多様で効果的な指導方法を適切に導入することを求めている。</p> <p>多様な価値観の存在を踏まえ、他者と対話し協働しながら、よりよい方向を目指す資質・能力を育成していくために、情報モラルをはじめとする現代的な課題の取扱いについて示している。</p> <p>教職の専門性に立脚した、児童の道徳性の育成に資する教材の開発や活用の意義を示している。</p>
---	--	---

<p>5 児童の道徳性については、常にその実態を把握して指導に生かすよう努める必要がある。ただし、<u>道徳の時間</u>に関して数値などによる評価は行わないものとする。</p>	<p><u>ア 児童の発達</u>の段階に即し、<u>ねらいを達成するのにふさわしいものであること。</u></p> <p><u>イ 人間尊重の精神</u>にかなうものであって、<u>悩みや葛藤等の心の揺れ、人間関係の理解等の課題も含め、児童が深く考えることができ、人間としてよりよく生きる喜びや勇気を与えられるものであること。</u></p> <p><u>ウ 多様な見方や考え方のできる事柄を取り扱う場合には、特定の見方や考え方に偏った取扱いがなされていないものであること。</u></p> <p>4 <u>児童の学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握し、指導に生かすよう努める必要がある。ただし、数値などによる評価は行わないものとする。</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ●評価の基本的な考え方 ・数値ではなく記述式による評価 ・個々の内容項目ごとではなく、大きくくり ・児童の成長を積極的に受け止め、励ます個人内評価 ・学期ごとや1年間など一定のまとまりの中で見取る ・調査書に記載せず、入学者選抜に活用しない ●児童の学習状況や道徳性に係る成長の様子を見取るポイント例（発言や感想文などから） ・一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展しているか ・道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか
---	--	--